

一

出典 石黒浩『ロボットとは何か』（講談社 2009年）

人がいる環境で人と関わるロボットを開発することと、その過程で「人間理解」が重視されるということについて説明した文章です。接続詞「すなわち」や言い換えを手がかりとすれば、情報を整理しながら理解することができるはずです。

問1【漢字の書き取りの問題】（解答番号は **1** ～ **5**）

正答は次の通りです。

a 考慮 **b** 臨場感 **c** 訴 **d** 稼働（動） **e** 鑑

漢字は部首の乱れ、字形・字体のバランスの崩れがないように書きましょう。

問2【空欄補充・前後の文脈から適切なものを選ぶ問題】（解答番号は **6**）

正答は①です。空欄前後の内容、直後の指示語、接続詞、接続詞的表現がそれぞれヒントになります。正答率は83%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適切なものを選ぶ問題】（解答番号は **7**）

正答は⑥です。認知科学や心理学には人間に対する断片的な知識はあるが、それらをつなぎ合わせたシステム構築に関する全般的な知識はほとんどないという内容を理解しましょう。正答率は70%でした。

問4【空欄補充・前後の文脈から適切なものを選ぶ問題】（解答番号は **8**）

正答は①です。空欄 **X** の1行前に「工学的な知識を加える」と説明されています。正答率は87%でした。

問5【空欄補充・文脈把握に関する問題】（解答番号は **9**）

正答は⑤です。直前の「すなわち」で言い換えられた内容と空欄直後の内容から、人間が「利用」する物という正答が導けます。正答率は65%でした。

問6【空欄補充・文脈把握に関する問題】（解答番号は **10**）

正答は②です。空欄直後の「言い方を換えれば」以下に、新しい技術開発が「人間理解」を伴うということが述べられています。正答率は75%でした。

問7【空欄補充・文脈把握に関する問題】（解答番号は **11**）

正答は⑤です。空欄直前の「言うなれば」と直後の「次のように言い換えられるかもしれない」という表現から、「人の能力を機械に置き換えている」という正答が導けます。正答率は47%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **12**）

正答は⑤です。傍線部Aの直後3段落分の内容から正答が導けます。正答率は67%でした。

問9【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **13**）

正答は④です。「実証実験が続けられている」理由は、空欄 **イ** の直前で説明されています。傍線部Bを含む段落は「実際」で始まることから、その前の段落を補足説明する構成に

なっているということに注意しましょう。正答率は32%でした。

問10【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **14**）

正答は⑥です。傍線部 **d** を含む段落から傍線部 **C** を含む段落までにおける「認知科学や心理学」、傍線部 **D** を含む段落の2つ前の段落にある「脳科学」を含む説明が正答です。第18段落には「先に述べたように」とあります。傍線部の直前直後だけではなく、複数の段落を関連付けて理解するようにしましょう。正答率は67%でした。

問11【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **15**）

正答は③です。傍線部の前後から正答を導けます。正答率は74%でした。

問12【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **16**）

正答は⑤です。傍線部 **E** を含む段落とその前にある2つの段落から正答を導けます。正答率は85%でした。

問13【内容合致問題】（解答番号は **17**）

正答は④です。傍線部 **C** を含む段落とその直前の段落で説明されている内容と合致します。正答率は83%でした。



出典 田中 修『植物はすごい 七不思議篇』（中央公論新社 2015年）

桜が春に開花することを“ふしぎ”と捉えて、開花するしくみを解き明かし、また、春に咲かないこともあるのはなぜか、その理由についても言及しています。

問1【漢字の書き取りの問題】（解答番号は **18**～**24**）

正答は次の通りです。

a 突拍子 **b** 意外 **c** 鋭敏 **d** 夏至 **e** 冬至 **f** 刺激 **g** 勘違

「意外」を「以外」と書くような、音が共通するというだけで意味を無視した当て字の答案が多くありました。「夏至」と「冬至」はあまり書けていませんでした。

問2【空欄補充・文脈把握に関する問題】（解答番号は **25**）

空欄 **I** は同音異義語について、その意味を正しく理解しているかどうかを問う問題です。正答は①です。正答率は92%でした。

問3【空欄補充・文脈把握に関する問題】（解答番号は **26**）

空欄 **II** は「冬の寒さの訪れを約二ヵ月先取りして知る」との記述に対応する言葉を選択します。正答は⑧です。正答率は82%でした。

問4【空欄補充・文脈把握に関する問題】（解答番号は **27**）

空欄 **III** は以前経験した出来事全体を総括する熟語を選択します。正答は⑨です。正答率は21%でした。

問5【空欄補充・文脈把握に関する問題】（解答番号は **28**）

空欄 **X** は2つあり、それらが「しかし」という逆接の接続詞を挟んでいることに注意し、また、空欄 **Y** と空欄 **Z** の間には「なぜなら」という理由や原因を示すために用いる接続詞があることに注意すれば、正答は導けるでしょう。正答は⑥です。正答率は82%でした。

問6【空欄補充・文脈把握に関する問題】（解答番号は **29**）

体の一部に言及する慣用句についての問題です。「いきなり無理な」状況に直面した場合の反応から選択できるでしょう。正答は⑥です。正答率は81%でした。

問7【空欄補充・文脈把握に関する問題】（解答番号は **30**）

直後に「きちんとしたしくみに基づいておこっている」との説明があるので、夏の個別状況を総括する根本原因についての言葉が入ります。正答は①です。正答率は70%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **31**）

直前に「そのことを知れば」と条件が示されているので、「そのこと」が指す内容を正しく理解できれば、順当な問いの理由は容易でしょう。正答は⑥です。正答率は88%でした。

問9【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **32**）

「冬の寒さがもっともきびしいのは二月ころ」と対比的に述べている前段の内容が「それ」であることから、夜の長さと言及する正しい説明が選択されます。正答は④です。正答率は84%でした。

問10【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **33**・**34**）

指示代名詞の「それ」は近くの先行詞を指すのが基本なので、なんらかの物質をつくることから「傍線部C」は容易に判断できるでしょう。正答は⑥です。正答率は98%でした。「傍線部D」は「送るための通路」を通るものであることから正答を導くことができるでしょう。正答は⑤です。正答率は96%でした。

問11【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **35**）

夜の長さの変化が冬の寒さの訪れに先行することを、植物は知っているとの文脈を正しく把握する必要があります。正答は⑤です。正答率は32%でした。

問12【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **36**）

因果関係とは原因と結果の関係なので、それは直前に説明されています。正答は④です。正答率は81%でした。

問13【内容を理解して小見出しを選択する問題】（解答番号は **37**）

小見出しは、文章の主題や中心的主張を反映するように設定する必要があります。花が咲くためのツボミはいつつくられるのか、その時期が話題の中心です。それを端的に示す小見出しを選択しましょう。正答は④です。正答率は20%でした。

問14【内容合致問題】（解答番号は **38**）

正答は⑧です。①については「樹木はいずれも」の「いずれも」が誤りです。②における「冬

の寒さの訪れが夜の長さの変化に約二ヵ月先行している」という説明は誤りです。③に関しては、サクラが秋に花を咲かせるのは、「冬が到来したと季節を間違えたせい」ではありません。④について、しくみそのものはきちんとしたしくみですので、誤りです。⑤は「疑問が浮かぶようなことでもない」が誤りです。⑥における、サクラの葉っぱが毛虫に食べられてしまうと、暑い夏を過ぎて秋の寒さを感じたサクラが花を咲かせるとの説明は誤りです。⑦についてはサクラが越冬芽をつくるのは「タネをつくらず子孫を残さないしくみ」との説明が誤りです。正答率は33%でした。